

[ 抄録様式 ]

<p>財団法人 8020 推進財団 平成 19 年度 歯科保健活動助成交付事業報告書抄録</p>
<p>1. 事業名：「歯の健康と医療費に関する実態調査」</p>
<p>2. 申請者名：(社)香川県歯科医師会 代表者氏名：会長 山下喜世弘</p>
<p>3. 実施組織：(社)香川県歯科医師会 共同研究 監修：香川大学教授 真鍋 芳樹 香川県国民健康保険団体連合会</p>
<p>4. 事業の概要： 平成 20 年度より都道府県は生活習慣病対策（特定健診・保健指導、市町村の啓発事業）及び在院日数の短縮等のための医療費適正化計画を策定することになっており、また、地域における医療費適正化に向けた取り組みには医療費分析を取り入れた根拠ある保健事業を進めることが重要であるとされている。そこで、歯の健康（残存歯数、歯周病の程度）と医療費、特に生活習慣病との関連等、歯の健康が全身の健康とどのように関連しているかを分析することにより、より効果的な歯科予防活動を展開する基礎資料を作成することを目的として行った。</p>
<p>5. 事業の内容： (1) 40 歳以上の国保加入者のうち、平成 19 年 2 月に歯科受診患者の残存歯数及び歯周病の程度に関する情報の得られたレセプト該当者について、歯科受診前 1 年間（平成 18 年 5 月、8 月、11 月、平成 19 年 2 月診療分のレセプト）の受診頻度を加味した 1 人あたり医療費（医科、歯科、調剤）について歯の健康と医療費の関連性を、以下の視点で調査・分析した。 (A) 平成 19 年 2 月診療分の歯科の日数・診療費 (B) 平成 18 年 5 月、8 月、11 月、平成 19 年 2 月診療分のレセプトを入手し、上記歯科受診者と突合を行い、歯科受診前 1 年間の入院・入院外、医科・歯科・調剤の日数・診療費及び 19 分類疾病や悪性新生物、脳血管疾患をはじめとする主要疾病等生活習慣病の日数・診療費と残存歯数・歯周病の程度との関連 (2) 平成 17 年 2 月と 19 年 2 月の調査結果を比較することで「口腔状況（残存歯数、歯周病の程度）の推移・変動」と「1 年間の 1 人あたり医療費の推移・変動」を、以下の視点で調査、分析した。 (A) 平成 17 年 2 月と平成 19 年 2 月に歯科を受診した者の残存歯数と歯周病の程度の変化 (B) 平成 18 年 5 月、8 月、11 月、平成 19 年 2 月診療分のレセプトを入手し、上記歯科受診者と突合を行い、残存歯数と歯周病の程度の変化と医科・歯科・調剤の日数・診療費及び 19 分類疾病や悪性新生物、脳血管疾患をはじめとする主要疾病等生活習慣病の日数・診療費との関連</p>
<p>6. 実施後の評価（今後の課題）： 今回は、平成 19 年 2 月に 40 歳以上の歯科受診患者についてその前 1 年間の受療頻度を加味した 1 人あたりの医療費について分析することができた。また、平成 17 年 2 月と 19 年 2 月の調査結果を比較することで「口腔状況（残存歯数、歯周病の程度）及び 1 年間の 1 人あたり医療費の推移・変動」を分析できた。 （今後の課題） 40 歳以上の国保加入者及び後期高齢者について、1 人あたり医療費の推移・変動を継続的に調査、分析する。</p>